

【事業分野:スモールコンセッション】 【対象施設:観光施設】 【事業手法:コンセッション・SIB】

調査のポイント

社会的インパクト評価のためのKPIの具体化とマネジメント手法の検討

- ・ SIBを組み合わせることでハード面のみだけではなくソフト面を含めての検討を可能にする事業スキームの精査を行っていく。
- ・ SIBスキームを実現する上で、どのようにしてKPIを設定するか、また、その検証方法をそのマネジメント手法について検討を進めた。またこのマネジメント手法については、他の自治体でも同様の検討ができるよう、汎用化を目指して検討を進めている。

事業／施設概要

本業務の対象施設は、「瀬波温泉地区」にある「旧香藝の郷美術館」である。旧香藝の郷美術館は、市が2017年11月に、温泉街活性化および乱開発防止を目的として購入したが、活用方針がまとまり切らず、遊休化した施設である。

A: 旧美術館棟

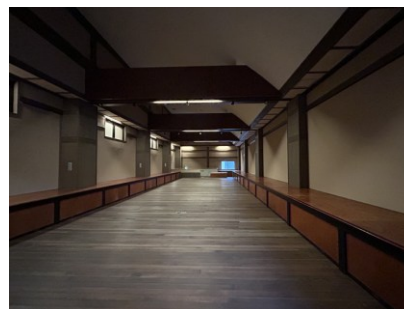
延べ床面積: 946.99m²

建設年度: 昭和62年建築

B: 旧旅館棟11

延べ床面積: 498.24m²

建設年度: 平成13年度大規模改修



目的・これまでの経緯

- ・ 本調査は、令和6年度民間提案型官民連携モデリング事業(インフラ維持管理・修繕等スモールコンセッション 調査テーマ⑨-A)「ブランド創出型スモールコンセッション」調査にて検討した施設の次期検討にあたる内容についての調査である。SIBを組み合わせることでハード面のみだけではなくソフト面を含めての検討を可能にする事業スキームの精査を行っていく。
- ・ とくに本年度の調査においては、村上市における地元事業者とのさらなる事業活動内容協議や施設改修の具体案検討を行うことで、事業予算規模の具体化とKPI案の設定、そのマネジメント手法について検討を進めた。

<これまでの経緯>

平成29年: 当該物件を市が購入。

平成31年3月: 旧香藝の郷の利活用方法に関する意見集約及び方向性に関する調査実施

令和元年4月: 上記報告書に基づいた意見募集(提出件数6件)

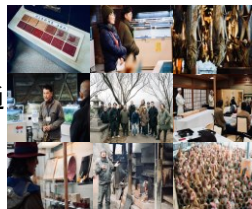
令和元年7月: 旧香藝の郷のモニター検証事業の募集

令和6年7月～令和7年2月: 国土交通省民間提案型官民連携モデリング事業にて、SIBを活用した事業スキームについて検討実施

調査結果

事業者候補や業界エキスパートとの協議

地元事業者28社や周辺旅館組合との協議、運営候補事業者、食分野におけるエキスパートワークショップなどを踏まて、SIB契約期間(7年間)の運営のあり方と、当事業を通じて達成したい将来の在り姿を言語化、規定。瀬波温泉が抱える課題と、市の観光戦略、当事業の位置づけを踏まえ、SIB期間終了時、令和13年度をイメージして規定。



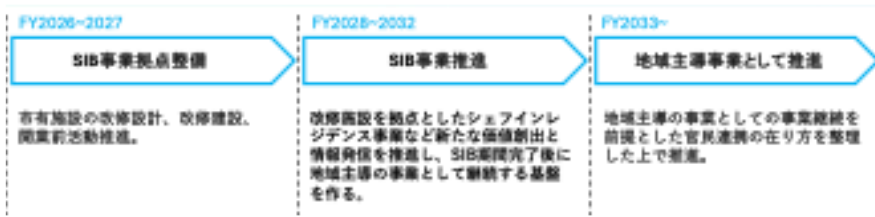
ブランディング活動を通じて達成される将来の在り姿の規定

国内外の人々を魅了する、食文化に関する観光コンテンツが生まれ続ける街へ。

構成要素1: 食文化に関する観光コンテンツを生む拠点となる場ができています
 構成要素2: 新たな担い手、地域連携による商品や観光体験ができています
 構成要素3: 観光客への情報が継続的に発信されている

施設運営の段階的展開の方針規定

本事業の目的は、瀬波温泉および村上市全体の観光産業の活性化であり、将来的には村上市地元企業が自走できる運営体制を構築できることが重要。すなわち、SIBの事業期間を通じて地元企業が自走力をつけ、SIB期間終了の令和13年度以降、地域主導事業としての推進できている状態が重要になる。以下の表の通り、事業フェーズを3つにわけ整理し、地元企業自走への道筋を示した。



インパクトロジックモデルの規定

事業を通じて実現したい将来のあり姿と、具体的な事業活動をつなぐロジックモデルを規定。記載したアウトプットとアウトカムを元にKPIを設定するための見取り図とする。

活動	前提の出来(アウトプット)	初期成果(アウトカム)	中期成果(アウトカム)	長期成果(アウトカム)
A 食文化発信 拠点をのぞり	市有施設改修の整備 改修施設内の整備	施設改修計画の施工 シェアインレジデンス開業 市内、観光客向けイベント実施	観光客を中心とした消費するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上 観光客を中心とした消費するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上	観光客を中心とする観光コンテンツ創出が実現されている
B 地域連携による観光コンテンツ開発	市内事業者の巻き込み 市外事業者の巻き込み	商品開発検討相談実施 商品開発に向けた交流活動実施	観光客を中心とした消費するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上 観光客を中心とした消費するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上	多様な事業者との協業により、観光客と商品開発が実現されている
C 観光客向け情報発信	自治体連携メディア発信 観光客向け情報発信	地元住民向け情報発信強化 観光客向け情報発信強化	地域住民中心に発信するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上 観光客を中心とした消費するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上	村上市及び観光客が「食文化に関する観光コンテンツが生まれ続ける街」として認知されている

SIB事業マイルストーンの規定

各フェーズ完了時に、以下のマイルストーン達成状況を総合的に評価し、成果と課題を振り返り、次年度以降の計画の調整を行う。マイルストーンに対応した要因分析を行い適切な改善点を導出。

	事業拠点整備期 2年目マイルストーン	施設開業期 4年目マイルストーン	プロジェクト成長期 7年目マイルストーン	SIB完了時
A 食文化発信 拠点をのぞり	瀬波温泉の中心に位置するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上が実現されている。	施設を活用した食文化体験コンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上が実現されている。	観光客を中心とする観光コンテンツ創出が実現されている。	観光客を中心とする観光コンテンツ創出が実現されている。
B 地域連携による観光コンテンツ開発	観光客を中心とした消費するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上が実現されている。	観光客を中心とした消費するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上が実現されている。	観光客を中心とした消費する観光コンテンツ創出が実現されている。	観光客を中心とした消費する観光コンテンツ創出が実現されている。
C 観光客向け情報発信	観光客から、地域住民中心に発信するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上が実現されている。	観光客を中心とした消費するコンテンツ創出も併せて推進する観光客の誘致及び滞在体験の向上が実現されている。	観光客を中心とした消費する観光コンテンツ創出が実現されている。	観光客を中心とした消費する観光コンテンツ創出が実現されている。

単年度支払い条件の規定

マイルストーンに応じた適正なモニタリングプロセスが運用されていることを前提としたうえで、検収時期に応じた支払い条件にあたるKPIを設定。単年度の支払条件については、定性目標に係るマイルストーンとは別に、その実現に必要な基礎項目に係る活動結果(アウトプット*)指標をKPIとして設定。(*アウトプット: 事業や活動を実施したことによって直接得られる生成物やサービス、実施量。)

事業化に向けた今後の展望

